



八咫鳥(やたがらす)は、神武天皇が熊野から大和へ入る時に道案内をしたとされるカラスで神聖な存在とされる。3本足で、日本サッカー協会のマークになっている。

蘇我氏が建立した最古の仏教寺院。近くに飛鳥大仏のある安居院がある。

甘樫丘の東の麓に蘇我氏の屋敷があったという遺跡が見られている。

飛鳥川原宮があったとされる寺。伽藍の配置が川原寺式と呼ばれ、五重塔と2つの金堂が建っていた。飛鳥寺、薬師寺、大官大寺と並び飛鳥四大寺の1つ。

欽明天皇は継体天皇の子で聖徳太子の祖父。この系統から天智、天武天皇が出ている。

聖徳太子が建立した7つの寺の中の1つで、近くに太子誕生の地があるといわれる。

草葺きや茅葺きであった当時、屋根に板を葺いたことでこの名がある。643年に新しい宮殿になったが、645年、蘇我入鹿が暗殺される事件があり、宮は難波に移った。

蘇我氏の基盤を大きくした蘇我馬子の墓ではないかと推理される古墳。入鹿を暗殺したクーデターの時、覆っていた土を剥がし死者を辱めたのではないかと推測される。

天武天皇、持統天皇は天智天皇(中大兄皇子)の弟であり娘で、壬申の乱で実権を握っている。日本初の体系的な律令、飛鳥浄御原律令を定めたといわれるが、その実物が存在せず不明な点が多い。

1970年の秋、農家の人が掘った穴の奥に見つけたという古墳。目を覆うばかりの極彩色の美人壁画が発見され大騒ぎになった。1974年に地域の村民が井戸を掘ろうとして見つけた世界遺産・兵馬備坑と時代も見つかり方もよく似ている。

地図をスマホで見たい人はこちらあなたの現在地がわかります。↓

あるいて10分